

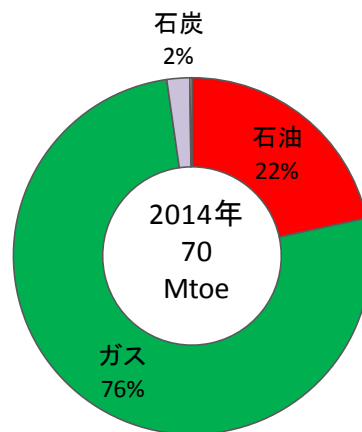
4-2 UAE

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 70 百万 toe (日本の 0.16 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 7.76toe (日本の 2.23 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 284%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 175.4 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 14.8%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 19.31 CO₂ 換算 ton (日本の 206.5%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 原油 68.7 年、天然ガス 100 年以上

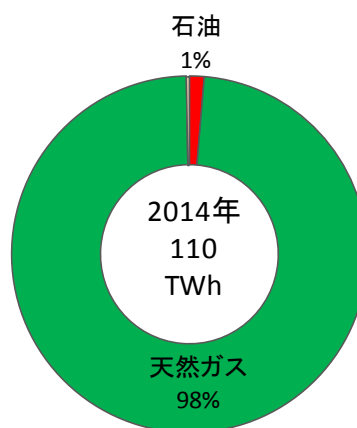
一次エネルギー供給構成 (2014 年)



Country: UAE

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014 年)



Country: UAE

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー政策担当機関は各首長国により異なるが、連邦レベルの石油政策は、アブダビ首長国政府とアブダビ国営石油会社（Abu Dhabi National Oil Company : ADNOC）が決定している。また同首長国では、石油政策の立案・推進等は最高石油評議会（Supreme Petroleum Council : SPC）が最終決定している。2014年3月16日に Abu Dhabi Executive Council（ADEC）の中にエネルギー庁（Energy Authority）が設立され、今後アブダビ首長国のエネルギー政策と効率的な投資を調整する役目を担うとされている。

(2) 基本政策

- UAE のエネルギー政策、石油・エネルギー関連の連邦法制度は現在ないが、アブダビ首長国には石油資源保護法があり、炭化水素資源の温存、油田の寿命延長、輸出最大化という基本政策が採られている。

(3) 最近の動向

- 2016年2月10日、第12代 UAE 内閣が発足した。Suhail bin Mohammed Faraj Fareis Al Mazrouei エネルギー大臣は留任した。
- 2016年2月15日、アブダビ執行評議会（Abu Dhabi Executive Council : ADEC）の人事異動でエネルギー庁長官、財務局局長の交代人事が行われた。同日、ADNOC 総裁も Abdullah Naser Al Suwaidi 氏から Sultan Ahmed Al Jaber 国務相に交代した。
- 2016年3月29日、最高石油評議会（SPC）の人事異動が発表された。主な人事は、Sultan Ahmed Al Jaber 新 ADNOC 総裁の新任、Khalidoun Al Mubarak 氏（Mubadala グループ CEO 兼 ENEC 会長）の新任、Hamad Al Shamsi 氏（元 ADIA 取締役）の再任、Abdullah Naser Al Suwaidi 氏（前 ADNOC 総裁）の再任である。
- 2016年5月、ADNOC の大幅な組織変更・人事異動が行われた。
- 2016年6月、アブダビの SWF である IPIC と Mubadala 開発の統合が発表された。
- 2016年10月、ADNOC は海洋油田を操業する2社を2018年までに統合、海運・港湾事業の3社を2017年末までに統合すると発表した。
- 2016年12月、ADNOC は ADCO 権益の10%を BP に、2017年1月に12%を中国勢に与えた。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2015年度におけるわが国の UAE からの原油輸入は4,917万klで、総輸入量の25.3%に相当し、サウジアラビアに次いで第2位である。また石油製品については、ナフサのみ364万kl（ナフサ総輸入量の12.7%、石油製品総輸入量の10.5%）を輸入した。
- UAE の油田に対し、わが国の石油開発会社4社が権益を有し、探鉱・開発・生産を行っている。LNG 事業には三井物産が、発電事業には丸紅、三井物産が参画している。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: United Arab Emirates

(2014年)

| | | |
|-------------------------------------|------------|-------------------------------|
| (1) 一次エネルギー供給量 | | 70 Mtoe |
| (2) 一人当たりの一次エネルギー供給 | | 7.76 toe/人 |
| (3) GDP当たりの一次エネルギー供給 | | 0.20 toe/千ドル |
| (4) エネルギー自給率 | | 284 % |
| (5) エネルギー起源CO ₂ 排出量 | | 175.4 百万CO ₂ 換算ton |
| (6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量 | | 19.31 CO ₂ 換算ton/人 |
| (7) エネルギー源別構成率 | 石炭 | 2 % |
| | 石油 | 22 % |
| | 天然ガス | 22 % |
| | 原子力 | 0 % |
| | 水力 | 0 % |
| | 再生可能エネルギー等 | 0 % |
| (8) エネルギーの輸入依存度 | | -184 % |
| (9) 石油の輸入依存度 | | -925 % |
| (10) 輸入原油の中東依存度 | | - % |
| (11) 原油の輸入先 | 第1位 | - |
| | 第2位 | - |
| | 第3位 | - |

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA